



make the style™
http://netz.jp

願い、かなう春。待望のフルモデルチェンジ!

NEW WISH



2009.04. 上旬 DEBUT

ネット甲斐は噴水が目印!!
http://toyota.jp/sp/new-wish

パスワード: 2a0

ネット甲斐

<p>本社 甲府店</p> <p>サンロード、東小学校 朝気、オキノバリオ セブンイレブン、NTT、GS ファミリーマート 至南甲府駅 甲府市朝気3丁目10番21号 TEL.(055)232-5511(代)</p>	<p>竜王店</p> <p>塩部自動車、至R20 宝くじ、いわした 山梨信用金庫 至南甲府駅 甲斐市西八幡2377-1 TEL.(055)279-5533(代)</p>	<p>韮崎店</p> <p>至R141 七甲野、至南甲府駅 生田工場、至南甲府駅 珍珍ラーメン、至南甲府駅 トヨタカローラ、至南甲府駅 バチンコジャンボ、至南甲府駅 至三郡橋 至南アルプス市浅原351-2 TEL.(055)283-5001(代)</p>	<p>若草店</p> <p>至田富流通団地 至三郡橋 至南アルプス市浅原351-2 TEL.(055)283-5001(代)</p>	<p>河口湖店</p> <p>至河口湖 至河口湖 至河口湖 至河口湖 至河口湖 南都留郡富士河口湖町船津4875-1 TEL.(0555)73-1161(代)</p>	<p>都留店</p> <p>大月市内 都留高校、トヨタレンタリース、満足屋、桂川、ひうが、オニール 至大月インター 都留市田野倉196-1 TEL.(0554)43-9000(代)</p>
--	---	--	---	--	---

新車インフォメーション・イベント、キャンペーン情報 <http://www.netz-kai.co.jp/>



Jリーグ・ヴァンフォーレ甲府
ゼネラルマネージャー

佐久間 悟氏

1963年東京都生まれ
大宮アルディージャの母体となるNTT関東サッカー部主将
引退後はフロント入りし、強化・育成部長、監督を歴任
現在はヴァンフォーレ甲府・ゼネラルマネージャー

スタジアムの興奮、小瀬劇場 感動の共有、地域力で強化

夢への挑戦、キックオフ
山梨を「サッカー王国」に

佐久間悟氏は、ヴァンフォーレ甲府のゼネラルマネージャーに就任し、はじめてのシーズンを迎えた。ゼネラルマネージャーとは、チームを統括する重要な仕事。マーケティングに携わり、チームを編成し、管理をする。ヴァンフォーレ甲府においては初のポストで、全国でも先進であり、期待が大きい。

課題は、「なによりも、ファンの声

援に応えることであり、チームを強くし、より高いステージで戦えるようにすること。チームを強化し、若手選手の育成をし、さらには、スポーツ振興事業や、地域文化の創造を目指す。

まずは、「早い時期にJ1に昇格することであり、「将来においては育成型のクラブにし、地元で選手の養成をしていきたいですね」。大きな夢への挑戦もある。「甲府に専用のスタジアムを作ること」、そして「山梨をサッカー王国にしたい」「世界

のオンリー・ワンのクラブにしたい」と、展望する。

サッカーのもつ意義を拡大し、支持者を増やしていくことにも意欲的だ。「サッカーはエンターテインメントでなければならないし、魅力がなければなりません。また、スタジアムは非日常の空間であり、人と人の出会いをつくり、喜びや、感動を共有する場所であればなりません」。佐久間ゼネラルマネージャーのイメージする小瀬競技場は、歓声で膨らみ上がる「小瀬劇場」だ。



育まれた「反骨精神」
1年の363日、猛練習

東京都の出身で、1963年7月生まれ。サッカーをはじめたのは小学6年生の時。「自ら行動し、責任をもつ」ことを学んだ。中学では、地域の選抜チームで活躍。自分のなかにある「反骨精神」を自覚するようにもなった。

友人の多くが東京の強豪校へ進学するなかで、城西大川越高校に入学。しかし、体力不足で練習についていけず、はじめて「挫折」を味わった。365日のうち、363日を練習に費やした。そして、高校選手権の埼玉県予選でベスト8に進出。「人間、努力すれば報われる」ことも体験した。

サッカー人生に、邁進した。駒沢大学では主将を務めた。大学卒業後はNTT関東に入社し、大宮アルディージャの母体となるNTT関東サッカー部で活躍。ポジションはDF。主将も務めた。

引退後はNTT関東と大宮で、指導者やフロントで活躍。ドイツやオランダに留学し、帰国後は強化・育成部長を経て、NTT東日本からの出向社員として、大宮アルディージャの監督も務めた。昨年9月、退団。JリーグやJクラブからの要請が

あるなか、ヴァンフォーレ甲府のゼネラルマネージャーを選択、10月1日に就任した。

単身赴任で、山梨で生活するのは初めて。しかし、「甲府クラブ」との縁もあり、大学時代にも友人がいたので、身近で、親しみを感じているという。富士吉田での合宿も懐かしいと、振り返る。いまだ、厳しい冬しか経験していないが、いよいよファン待望の、春を迎えた。

ハラハラ、ドキドキの興奮
今年は攻撃と安定が課題

昨シーズン、ヴァンフォーレ甲府のファンは「ハラハラ」「ドキドキ」の試合に、興奮もし、歓喜もし、頭を抱え込んだりもした。「戦国の名将・武田信玄公のDNAをもつのか、ヴァンフォーレ甲府は仕掛け、攻撃するサッカーが得意。この特異性に、今年は、安定性を兼ね備えたいですね。」そこで、3つの目標を掲げた。

まず、1つ目は「ゲーム全体をコントロールする、という発想をもつことです」。つまり、「プロ意識」であり、戦いにおける「老練さ」だ。2つ目は、「去年は決定力不足にあえぎましたが、これを克服し、決めるときに決め、点が取れるチームにしたいですね。」

3つ目は、「チームが一丸」になること。「喜びはもとより、苦しみにも耐え、監督も選手もフロントも一体となること。人間の強さを養成していきます」。この3つが揃ったとき、ようやく「勝利の女神」が微笑んでくれるのだという。

サポーターやスポンサーとの「意識の共有」も、チーム力を高め、向上させていく条件だ。「ヴァンフォーレ甲府

のサポーターは、Jリーグのなかでもトップだというのが定評です。ゲームの結果だけを問い詰めるのではなく、90分を戦ったことを評価し、純粋に応援してくれるからです。」

ヴァンフォーレ甲府は、地域に恵まれていると感謝する。家族揃って応援してくれるし、スポンサーも1業種1企業が一般的だが、そうしたこだわりもない。「サッカーを愛し、サッカーを育てていこうという風土があります」。大宮アルディージャの監督を退任後、新天地を山梨に求めた理由のひとつでもある。

サッカーから学ぶ教訓
企業、家庭、地域づくり

サッカーは人生とよく似ている。「99パーセントの努力と、1パーセントの成功です。今日の試合では得点をしてヒーローとなり、次の試合では得点できず、絶望します。しかし、ここにサッ



安間監督との情報共有も大切な仕事



積極的に選手と話をする佐久間GM



ピッチに輝く「早野組」の看板

カーの魅力も、感動もあるのです。」
サッカーから学ぶことは多い。「機会は平等ですが、結果は不平等。しかし、自己責任をもち、結果を受け止め、再チャレンジすることも可能です。それぞれが個の強さをもつことが大切で、個の強さが、組織化されたとき、結果につながるのです」。こうしたチームづくりは、企業にも、家庭にも共通している。
また最近では、「気配り、察する、暗黙の理解など、日本特有の感性や

遠慮から、人間関係が稀薄になっているところがあります。」「勇気をもって、発言すること、また、人は皆、背景が違うことを理解し、人を尊重すること、そのなかで、新しい価値観をつくりあげていくことです。」
こうしたコミュニケーションのあり方は、地域社会や教育にも有効だ。
サッカーの見どころ、楽しみは、豊かで、深い。ヴァンフォーレ甲府とともに、明日を語り、成長したい。
[構成：三神 弘]

節	試合日	対戦カード
AWAY GAME		
1	3月8日(日)	ファジアーノ岡山
AWAY GAME		
2	3月15日(日)	FC岐阜
HOME GAME		
3	3月22日(日)	コンサドーレ札幌
AWAY GAME		
4	3月25日(水)	ベガルタ仙台
HOME GAME		
5	3月29日(日)	サガン鳥栖
AWAY GAME		
6	4月5日(日)	セレッソ大阪
HOME GAME		
7	4月11日(土)	ザスパ草津
AWAY GAME		
8	4月15日(水)	横浜FC
HOME GAME		
9	4月19日(日)	東京ヴェルディ
AWAY GAME		
10	4月26日(日)	栃木SC
HOME GAME		
11	4月29日(水祝)	湘南ベルマーレ
AWAY GAME		
12	5月2日(土)	愛媛FC
HOME GAME		
13	5月6日(火祝)	水戸ホーリーホック
AWAY GAME		
14	5月10日(日)	ロアッソ熊本
HOME GAME		
15	5月17日(日)	カターレ富山
AWAY GAME		
16	5月20日(水)	アビスパ福岡
HOME GAME		
17	5月23日(土)	徳島ヴォルティス
AWAY GAME		
18	5月30日(土)	コンサドーレ札幌
HOME GAME		
19	6月3日(水)	愛媛FC
AWAY GAME		
20	6月7日(日)	水戸ホーリーホック
HOME GAME		
21	6月14日(日)	ロアッソ熊本
AWAY GAME		
22	6月21日(日)	カターレ富山
HOME GAME		
23	6月24日(水)	アビスパ福岡
AWAY GAME		
24	6月27日(土)	徳島ヴォルティス
HOME GAME		
25	7月5日(日)	栃木SC
AWAY GAME		
26	7月8日(水)	湘南ベルマーレ
HOME GAME		
27	7月12日(日)	ザスパ草津
AWAY GAME		
28	7月18日(土)	セレッソ大阪
AWAY GAME		
29	7月22日(水)	東京ヴェルディ
HOME GAME		
30	7月26日(日)	ベガルタ仙台
HOME GAME		
31	8月2日(日)	横浜FC
AWAY GAME		
32	8月5日(水)	サガン鳥栖
HOME GAME		
33	8月9日(日)	FC岐阜
HOME GAME		
34	8月16日(日)	ファジアーノ岡山
AWAY GAME		
35	8月23日(日)	徳島ヴォルティス
HOME GAME		
36	8月29日(土)	カターレ富山

表紙の解説 オシドリ



オシドリは、古くから「鶺鴒の契り」という言葉があるように、雌雄仲が大変よい鳥で、いつも番で生活している。人の社会でも仲睦まじい夫婦は「おしどり夫婦」として賞賛されている。カモ類の多くは地味な色彩の雌に比べて雄の羽が鮮やかであるが、オシドリは際立って美しい色をしている。雄の頭には変化に富んだ色彩の長い冠羽があるほか、尾羽近くには銀杏の葉の形をした銀杏羽つがい、想い羽とも呼ばれているがある。

また嘴は紅色で先が白く、脚は橙色をしている。そんな雄とは対照的に雌には暗い灰褐色の地に白くて細かい斑紋があるだけである。雌雄の色彩の差の大きさが、番の結び付きの強さの決め手になっていると考えるのは邪推だろうか？

しかし、こうした色彩の違いは一時的なもので、繁殖期が終わると雄の羽はとたんに雌の色彩と区別がつかないほど地味な色になってしまう。

これは、多くの野鳥に見られる「換羽」と呼ばれる現象で、繁殖期には雄の鮮やかさが必要な「繁殖羽」となり、子育てが終われば、目立たない「非繁殖羽」になる自然界の掟でもある。

やまなし野鳥の会会長
日本野鳥の会甲府支部長 依田 正直

「MUH」vol.40 2009.4.1
企画 / 早野グループ「MUH」編集室
深沢進・矢田道生・米山昌二・青柳友昌・樋口明美・齋藤慶子・雨宮千鶴子
編集 / 株式会社ニュースメディア甲府
三神弘・小林大介・岩間新太郎・千野和美・荻野由香・杉田陽子・浅川毅・標克明
印刷 / 株式会社サンニチ印刷

誌名の「MUH」は、早野組の社訓である「和」を託したMate(仲間)Union(結束)Harmony(調和)の頭文字からとりました。幻のムー大陸のロマンを目指します。

入学・入社

戦国時代の非正規雇用

梅が終わって桜の季節になると、入学、入社の季節になる。サラリーマン経験がある人ならば、そのほとんどが入社式には出ているだろう。

毎年、トップの挨拶などが新聞に掲載される。「なるほど上手いことを言う」とか「この人は毎年同じことを言っているらしい」など、読む楽しみはある。

このトップの挨拶。実はその企業の真実が反映されるから怖い。トップが馬鹿なことを言えば、そのままその企業は馬鹿の集まりになってしまうと判断されるからである。

ところで、江戸時代にも「入社式」などはあったのか。あるはずはない。ただ、新しくお役目に着いたり、仕官したりした場合には、当然主君とのお目見えというのがある。

これが多分、現代の入社式と同じではないか。

しかし、お目見えとは簡単なもので、主君の前に出て挨拶をし、主君から「励めよ」とか何とか声を掛けられる。それでおしまい、既に給料は決まっていて、あとは勤務するだけである。

では、戦国や江戸といった時代に、非正規雇用者がいたか。クイズのようだが、実はいたのである。それも皆

さんなら必ず知っている存在ですよ。

そうです。「忍者」です。

徳川家における服部半蔵や伊賀者・甲賀者は、これは正規雇用。しかし、戦国時代の忍者は、ほとんどが非正規雇用だった。

戦国武将の陣営に金で雇われて働いた忍者は多い。その供給源が、伊賀や甲賀であった。だから、今日雇われた武将の秘密を、明日は敵の武将に漏らすことなど朝飯前であった。

それどころか、昨日は自分の主君だった武将の命を、明日は狙うことなどもあった。

考えてみれば、戦国時代の非正規雇用は、現代よりもずっとアグレッシブで自主的であった。「首を切れるなら切ってみろ。明日はその首をもらい受けてやるぞ」といって言ったであろう。

だから、雇った方も一方的な首切りなど出来なかった。それなりの手柄を立てれば、正規雇用として取り立てることもあったし、臨時ボーナスで対処することも多々あった。

彼らには入社式などない。命を引き替えに仕事をする。それが戦国の非正規雇用の実態だ。が、こっちの方がずっとカッコいいことは間違いない。

江宮隆之

入学式の思い出

岩崎正吾

今までちゃんとした企業に勤めたことがないから、入社式というものは知らない。入学式はいくつか体験したはずだが、こちらはさっぱり思い出せない。あまりに遠い過去であることと、入学式には特別なことがなかったからだろう。「蛍の光」も「仰げば尊し」もないし、女の先生が感きわまって泣きだすこともなかった。平凡で、退屈な、入学式...のはずだったが、一つだけ思い出したことがある。

小学校の入学式のあと、教頭先生が自分の顔のような大きなコッペパンをわたしたちにかざして言った。「今年から給食が実施される。きみたちは明日から、毎日、このパンが食べられるんだよ」

昔の新生だから歓声をあげるにはいたらなかったが、あのときの感動は忘れられない。給食が楽しみで学校へ行っていたようなものだ。「空腹世代」の悲しいような、せつない思い出である。

もう一つ思い出した「入学式」がある。確か高校2年のときだったと思うが、突然、映画の撮影隊が学校に来てわたしたちは入学式風景のエキストラに狩り出された。

カバと呼ばれていた先生が、「ただいまから入学式を挙行いたします」と宣言し、わたしたちは立ったり座ったりさせられた。

運動場の方では大スター高峰秀子と佐田啓二が来ると大騒ぎをしていたが、つながりがわからないから右往左往させられて終わってしまった。どんな場面がわかったのは、数年後、名画座でその映画「二人で歩いた幾春秋」を観たときだ。

高峰と佐田は夫婦で、夫は酒好きの道路工夫。夫婦の一粒種が高校に入り、その入学式に夫婦で来たが式場に入れない。運動場の金網のところにいると、息子が早く入れと呼びに来る。でも、こんな服装だからと、ためらう両親に息子は言う。「服装なんかなんだっていいんだ」

親子の情愛が心打つシーンに出来上がっていた。原作は市川大門町の実在の歌人。監督は木下恵介、佐田啓二は中井貴一の父親で、この数年後、山梨県内で交通事故死している。こんな思い出話をしていると、われながら歳だなあと嫌になる。

PROFILE

江宮 隆之
えみや たかゆき

1948年増穂町生まれ。作家。第13回歴史文学賞、第8回中村屋湖文学賞受賞。「白磁の人」の映画化が決まった。新刊に『井伊直政と家康』『最後の大名 浅野長頼』など。

古屋 久昭
ふるや ひさあき

1943年御坂町生まれ。日本現代詩人会員、日本現代詩歌文学館評議員。詩集に『落日探集』『ほか、童謡集に『虫らしく花らしく』エッセー集等

岩崎 正吾
いわさき せいご

1944年甲府市生まれ。作家。山梨ふるさと文庫代表。現在『1冊でも本のつくれるオンデマンド印刷機を山梨に導入しよう』と奮闘中。またインターネット上で作家 出版活動をしようとして『探偵の冬』が刊行され、同時に『探偵の秋』が文庫化される

佐藤 眞佐美
さとう まさみ

1939年北海道生まれ。日本児童文学者協会、日本児童学協会、児童書に『怪奇！大東京妖怪ゾーン』（ポプラ社）『文ちゃんのはるかな知床』（北海道新聞社）近著に『シレットフのシルバール』（草炎社）『山梨の童話』（リブリオ出版）など

入社丸は沈没船？

古屋久昭

知床の入学式

佐藤眞佐美

桜吹雪の舞う中を、子どもたちが母親に連れられ喜々として入学式に臨む。子どもたちにとっても親にとっても、それぞれ希望と欝びと不安と緊張が交錯する一瞬である。

よほどの例外でない限り、一定の年齢がきさえすれば、小学校への入学式は誰でも経験する。このときの感激だけは子どもにとっても親にとってもすぐには消えない。そればかりか両親のわが子への期待は膨らむばかりである。

やがて、優秀な成績であってもなくても中学・高校を卒業する、大学を卒業する。そしてここからが人生のそれぞれの枝分かれということになる。誰でも等しく入社式に臨むということはないからである。

つまり、家業の職に就いたり、町の小さな工場や一人でする仕事では、入社式などというセレモニーはないのである。親方が先輩か、場合によっては父親なんか「がんばれよ」などと肩を叩かれ、そこにいる人たちに紹介されるくらいである。

一方、入学、卒業、入学、卒業を何回か繰り返し、その暁には大企業にめでたく入社する人たちがいて、その

中にはエリート社員への第一歩という人もいる。

ところがである。異変が起きたのである。例の米国サブプライムローンに端を発した金融恐慌が、国際市場経済を大混乱に陥れ、世界を震撼させたのである。日本でも円高株安による企業への影響は甚大で人員整理などでこの危機を乗り切ろうとしている。

その犠牲になろうとしている人たちは、非正規社員ばかりでなく、これから入社しようとしていた高校や大学の卒業生らに及ぶ。突然の入社取り消しや、かろうじて入社できたとしても沈没船に乗り込むような危うさである。憧れの入社式を夢に見て将来に続く人生設計を大きく描いたのに、落涙である。わが身の努力不足というものではなく、ただただ百年に一度といわれるどん底不況のせいである。

いい学校へ入って、いい会社に就職する。この神話もろくも崩れ始めている。何がいい会社なのか、そもそも永遠にいい会社などというものがあるのだろうか。あの壮大で晴れやかなマンモス入社式の光景は、もはや昔の面影になってしまうのか。

世界金融恐慌と日本経済

山梨学院大学 経営情報学部教授 宮塚 利雄

筆者が「世界恐慌」という言葉を初めて耳にしたのは、今から40数年前のことで、大学の「経済原論」の講義であった。難しい講義のためか、必修科目でありながらも聴講する学生は少なかったが、その最後の講義が「世界恐慌...世界経済における矛盾の展開」であった。この時は漠然と「世界恐慌」が起きたら大変なことになるだろうな、というくらいの認識であったが、まさかこの「世界恐慌」を現実に経験するとは思わなかった。アメリカ発の世界金融恐慌の発端は、サブプライムローン(通常の住宅ローンの審査には通らないような信用度の低い人向けのローン)の破綻であった。このサブプライムローンで貸し付けを行っていた、アメリカで二番目の規模を誇る証券会社「リーマンブラザーズ」が2008年9月15日に事実上破綻し、アメリカはおろか世界経済が大混乱に陥るようになったのである。「リーマンショック」にはじまる金融危機は急速に实体经济に影響を及ぼし始めた。今、日本の企業は需要急減を主因に、まさに「総崩れ」の状況にある。需要急減による資金難に金融機関の融資基準が厳格化し、中小企業を中心に資金繰り破綻の懸念が強まっている。特に銀行からの借りに依存する中小企業で深刻である。「資金確保」は今や日本企業の最重要テーマで、これは大企業も同じであり、「大企業横並びで資金繰りに苦しむ事態はこれまでになかったこと」と金融関係者が驚くほどである。世界的な景気低迷で企業業績は急悪化しており、予測できない突発的な資金需要に備える必要がある。上場企業の2008年4月～12月期決算はまさに壊滅状態であった。特に、近年の日本経済の牽引役となってきた自動車や電機など製造業でその傾向が著しい。2009年3月期の営業損益見通しは、トヨタ自動車が国内事業会社で過去最大となる4500億円の赤字、電気でも東芝が2800億円、ソニーが2600億円と共に過去最大の赤字計上となる。総崩れの主因は需要減と円高に

よる為替差損で、自動車やデジタル家電など最終製品の販売の大幅な落ち込み、それに伴う生産減、在庫の急増である。この「需要減、円高、金融不全」が日本企業を直撃しているのである。かつては「設備、雇用、債務」という三つの過剰に苦しめられてきた日本企業は、今では「在庫の山と設備の過剰」を築いてしまった。「需要が蒸発した」と言われるほどに、これまで経験したことのない急激かつ大幅な売り上げの落ち込みが続いているのである。昨年末から大手企業は大リストラを打ち出し、この3月末までに職を失う労働者は非正規で45万人に達すると見込まれている。雇用調整の大波が襲う中、労働者が仕事を分かち合うという「ワークシェアリング」が脚光を浴びているという。「派遣切り」された人達のために、年末年始に「年越し派遣村」ができた。我々が直面している世界同時不況は、1930年代の大恐慌以来の危機でもある。与謝野経済財政担当相は「戦後最悪、戦後最大の経済危機」と言ったが、まさに「百年に一度」の未曾有(みぞゆうと呼んだ首相がいたが...)の大不況である。この大恐慌時代をどうやって過ごすべきか。大恐慌の研究者として知られた故・侘美光彦立正大学教授は「大恐慌型の不況を克服するには、需要不足を埋めるために財政支出をただやればよいというものではない。設備投資や研究開発を促し、民間企業の発展を助ける支出を大規模にやるべきだ」(『朝日新聞』2009年3月2日号)と語った。雇用創出のためにも、未来を切り開く新産業を育てる政策が問われている。「ピンチはチャンスでもある」とよく言われるが、この難局を生き抜くには他者がやっていない新しいこと(新商品、新製品などの開発)にチャレンジするしかない。問題は新商品、新市場、新分野には失敗や読み違い、期待外れということもある。しかしこのリスクがあるからといって、ただ手をこまねいてはジリ貧だ。



春は出会い、別れの季節。山梨で生まれた息子も、この春いよいよ小学生。その間、埼玉、静岡、仙台と転勤に伴い移り住み、様々な風土、文化に触れながら暮らして来ました。幼稚園の年長さんでは卒園文集委員として、子供達や幼稚園を追いかけはカメラや文章におさめてきた一年が、とても懐かしく思い出されます。

文集は、幼稚園で発行する卒園アルバムではなく、代々クラスのお母さんの希望で始まった、全て手作りで、プロの方でも決して出せない、親達の子供への想いを胸にせせせと取り組んできました。広大な自然の中、四季を通じて田畑を耕し、収穫し、感謝して料理すること、質のよい素材や自然の産物から遊びや作品を自分の頭で考えだすこと、どろんこになって友達と遊びまわったこと、自由の中の規律等、難しい技術や学問は一切教わりませんでした。人間として幼少期に培うべき要素を、余す事無く、実にのびのびと体験させてくれました。最後の懇談会で、お母様方が例外無くこの幼稚園に子供を入れたことが、幼少期で一番幸せな選択だったとおっしゃっていたのが印象的でした。

息子の通う幼稚園は、年少から年長までクラス変えもなく、担任の先生も全く変わらないため、共に歩んだ成長の歴史があります。

沢山の思い出をいかに文集におさめるか。散々考えたあげく、私が最も大切にしたのは、ごく当たり前の光景をとらえる事にありました。数々の行事は確かに良い思い出。けれども、10年後、20年後に振り返った時に、

もっとも懐かしくなり、子供にとっていつまでも心に残る記憶は、普段カメラにも収められない程ごく日常の慣れ親しんだ光景と考えたからです。

屋根をつたって園児達が木からおりていくうちに、すっかりつるつるとなった木、子供達の自然な笑顔。幼稚園時代の息づかいや空気を、なるべく園児の目線に立って、忠実に描写出来ればとおもいました。

それぞれの転勤先を振り返っても、同じ事がいえません。はじめての地方都市山梨では、とれたての柿、かりん等、観るもの全てに感動し、地元の方から「何でも撮りたくなるんだねえ。」と笑いながらも、よく撮影に協力していただいたものでした。そして静岡では、近所の湖に息子とほぼ毎日、いつまでもいつまでも亀や魚に餌やりをした事等。

沢山の転勤、成長の早い子供との暮らしを経験するうちに、今このときを大切にしなければ、時間はあっけなく過ぎてしまう、と考える習慣が自然に身に付き、結果的に沢山の心の財産を積み重ねられたと感じています。

四月からの小学校生活。新たにやってくる日常を、家族と共にゆっくり大切に育んでいきたいものです。



園児たちが屋根からつたって降り、つるつるになった木

ボクのやまなしフィールドミュージアム07

鳴沢村は不思議ワンダーランドだ！



巨大な自然石の上に道祖神が祀られている。

県内いろいろな場所を「旅」していると、不思議なことに会います。鳴沢村も、実に個性的な村でした。たとえば、宮前には、大きな自然石の上に卵型の碑がちょこんとっている巨大な道祖神があります。なんともユーモラスな出で立ちなのですが、こんな風情見たこともありません。むかしはこ

山本育夫

あります。郷蔵は、江戸時代には年貢米の保管場所でした。また、凶作に備えた貯蔵米の蔵でもありました。鳴沢村には、鳴沢地区と大田和地区に各一棟の郷蔵が現存しています。棟板には建築年代が墨書されていて、それによると大田和の郷蔵は「安政二(1855)年」、鳴沢の郷蔵は「文久元(1861)年」の再建であることがわかります。その後、何度か修理され、今でも村の倉庫として活用されています。

江戸時代からずーっと現役！その感じが、伝わってきます。

鳴沢村で両墓制が見られるのは、大田和地区だけである。

両墓制とは、遺体を埋める「埋め墓」と、その霊を祀る「参り墓」を持つ墓制のことです。大田和地区は、この両墓制をとっています。鳴沢村では、この地区だけの風習です。

このお墓にも驚かされました。墓域の西側には、「埋め墓」があります。「土まんじゅう」の上に俗名を書いた自然石が一つ置かれ、墓じるしとなっています。まるで江戸時代のお墓のようなたたずまいです。「参り墓」は東側に設けられ、現代風の墓石が立ち並んでいます。しばらく見守っていると、奇妙な感覚に誘われます。土まんじゅうがゆらゆら蠢いて地中から・・・。

一方で、これほど生者にも死者にも親密はお墓はないでしょう。そういう親しみやすさも併せ持つところが、埋め墓の不思議な両義性です。

の道祖神場でもどどん焼きが行われていたそうです。

「幻の川」と呼ばれる道がある。

宮前の道祖神から南に下ると、東西に走る細い道があります。舗装されていて道のようにも見えますが、ここは道ではなく、大雨が降ると「川」になる道なのだそうです。これも不思議ですね。さっきまで車が走っていたのに、豪雨が通り過ぎると川になる！なんて。こういう両義性？が案外鳴沢の村の性格を表しているようにさえ思えます。

江戸時代の郷蔵が、いまでも残っている。

JA大田和支所の裏に木造の郷蔵が

同じ鳴沢村でも大田和集落と鳴沢集落では、微妙に言葉や慣習が違う。

鳴沢村は、大田和と鳴沢の二つの集落で成り立っています。しかし、この二つの集落は、足和田山の尾根が延びていて、地形的に分断されています。尾根の東が大田和、西が鳴沢です。尾根の突端の字名は「境野」で、集落の境になっていることがわかります。か

つては、大田和と鳴沢の間で、方言やアクセント、生活慣習や儀式の微妙な違いが見られました。大田和は郡内、鳴沢は峡南地域の影響が強かったのではないかと考えられています。

たとえば「こんばんは」は、「大和田ことば」では、「オバンデゴザンス」、「鳴沢ことば」では、「バンデゴザリマス」となります。



魔王天神社の神殿には、おびたしい数の三叉戟(三本に枝分かれた鉄剣)が奉納されている。

ひゃー、まずこの名前で驚きますよね。魔王天神社。この魔王と天神、いずれも崇り神だそうですが「魔王天」と同じものと考えられています。魔王天神社は、富士山にそっぽを向いたような形で造られ、神社正面は東に向いています。枯葉一枚を拾っても祟りがあるとされると、百段もある石段を登るのさためらわれます。本殿裏の神殿には、刺股のような形をした三叉戟がいくつも奉納されています。武具が奉納される神社は、大変珍しいそうです。

富士山中腹の小御獄神社は「小御獄

権現」と呼ばれますが、鳴沢村・魔王天神社から分祀されたものだといわれています。

ちなみに県内の「魔王天」と名前が付く社は、鳴沢村の「魔王天神社」と市川三郷町の「魔王天神社」、富士河口湖町(旧・上九一色村)の渡辺家・屋敷神の三つのみであるといわれています。



自然石の上の道祖神



両墓制埋め墓風景



ジラゴンノ富士山溶岩



山本育夫

特定非営利活動法人つなぐ理事長・まちムー友の会事務局
長・武蔵野美術大学非常勤講師・元まち見物誌ランデブー編集
長

山梨県下に150を越すツアーコースと、同じ数のガイドブックをつ
くり、現在、毎月、2,3回のウォーキングやバスツアーを実施してい
る。まちムー友の会会員は200名を越し、県下最大のふるさと歩
き隊。関心のある方は、下記サイトをご覧ください。

つなぐNPO公式サイト
ランキングにチャレンジします。愛のワンクリックを!
つなぐサイト まちムーブログ最新情報 アイコン「山梨情
報」をクリック <http://www.2a.biglobe.ne.jp/yamaiku/>

紙の宝石 「エクスリブリス」

奈麻余美文庫主宰 **植松 光宏**

本に貼り書票として愛用

本にはとどりの楽しみがあります。読む楽しさ、眺める楽しさ、送る楽しさ、薦める楽しさ、などなど。今回は「エクスリブリス」を特集し、集める楽しさ、眺める楽しさについてお話します、突然エクスリブリスと云っても戸惑いを感じますが...

「エクスリブリス」は日本語で書票と云います。私の「エクスリブリス」をご紹介します。



近岡善次郎 作

原寸大です。縦・横5センチ、西洋建築の塔が描かれています。モデルは、旧春米学校で、左上に「EX-LIBRIS」と書かれています。この言葉はラテン語で世界共通です。ちなみに作者は近岡善次郎画伯と云い、安井賞受賞作家です。近代建築のスケッチ画を得意としました。右下の「zen」は善次郎の頭文字です。エク

スリブリスには、必ず所有者の名前を入れるのが決まりです。奈麻余美は文庫名です。私、三十年前、「山梨の洋風建築」と云う本を出版いたしました。この道の第一人者・近岡善次郎さんに依頼し作っていただきました。それを本に貼り書票として、今も愛用しています。私の自慢の一品です。

エクスリブリスは、通常、本の見返しに、これは私の本だと自己主張のため貼るのがそもそものはじめでした。形は千差万別ですが、通常は名刺大から葉書ぐらいの大きさです。形、色、紙質にあまりこだわらず、デザインを大切にします。紙の宝石と呼ばれる所以です。明治期に入り、外国のエクスリブリスが日本にも上陸いたしました。舶載されたと云った方がいいですね、画家や版画家に作らせ、自分の本に貼りました。夏目漱石や北原白秋もエクスリブリスの虜になったほどです。時代は下り、少し絵心のある人は、自分でデザインして印刷、友人や同好者にプレゼントや交換し合うようになりました。切手の収集とおなじ様に。

絵柄に託された思い出

中国や日本ではハンコを作り、本の裏表紙に押印いたしました。それ

が蔵書印です。我が家でも蔵書印があります。植松蔵書印といいます、大正期の古いものです。父譲りの蔵書印を後生大事に今も使っています。昨今、蔵書票を押した古本は、滅多に見かけません。同様にエクスリブリスも見かけません。

三十年も前の話で恐縮ですが、私は、アメリカデモイン州にホームステイしました。ホームステイ先の主は大学教授、彼の職場・デモイン図書館でカウンター業務を研修いたしました。図書館の規模の大きさ、ネットワークの充実、膨大な予算、何よりも、市民サービスの徹底ぶりに驚きました。ただただ感動でした。研修が終わり、館長さんが記念品をくれました。アメリカ市民流に「貰った品はその場で開ける」。パッケージの中に文具が入っていました。見ると、私の名前の頭文字「MU」とローマ字で「MITSUHIRO UEMATSU」と、そして最上位に「EX-LIBRIS」と書かれたゴム印が出てきました。アメリカの蔵書印です。奈麻余美文庫の蔵書印として使っていますが、アメリカでも、このような簡易なエクスリブリスが主流です。



デモンライブラリー 作

甲府の朝日町ガード上に城北書房という古本屋がありました。店主の長谷部金蔵さんは、甲府の古本屋の元祖的存在、彼は青年期、東京神田の古本業界で叩きあげられた経験の持ち主、こと本に関する学識は書誌学者以上、気さくな人柄は多くの古本マニアに愛されたご仁です。そんな彼が、これは、奈麻余美文庫用にと、娘に作らせた書票ですと云って、ランプをあしらった切り絵風の書票を頂きました。額



長谷部切り絵作家 作

に入れ、今も窓辺に飾ってありますが、城北書房でも小さなガラスケースの中に「エクスリブリス」が展示、発売されていました。当時、エクスリブリスを売っているのは、この古書店しかありませんでした。時代を感じます。エクスリブリスを実用している人はもう見かけません。

エクスリブリスの作家たち

伊藤吉雄さんは山梨美術協会会員、化石や埴輪を絵のモチーフとしました。若い頃から書票に興味を持ち、いろいろ収集しており、私も拝見しましたが、素晴らしいコレクターでした。私の「山梨の博物館」の著作に挿絵を描いて頂きました。そのうちの一枚を書票に仕立ててくれました。彼は萩原英雄氏から貰った年賀はがきを自慢げに見せてくれました。萩原英雄氏も素晴らしい書票を作る書票作家として知られ、県立美術館で見ることができます。

藤原美佳さんは、新進気鋭の水彩画家、挿絵が得意です。雑誌「ホッとらいふ」に健筆をふるっています。猫の絵をあしらったイラスト画が特技です。私はこの雑誌社主催の文芸講座に出演し、彼女の知遇を得ました。猫の絵をモチーフにこんなに、見事な蔵書票を作りプレゼントされました。文芸講座のタイ



藤原美佳 作

私の エクスリブリス collection



青燈社刊
「エクスリブリス」より



「裸婦像をモデルに」



日本人好みの愛玩動物タイプ



タテ5cm x ヨコ18cm



ヨーロッパタイプ エッチングエクスリブリス

トルは「十六文で風鈴を喰う」<長田円右衛門江戸で屋台を引く>と云うものでした。

広瀬千香さんてご存じでしょうか?「書票作家」です。甲府出身、簡単に彼女の経歴にふれますと、甲府の山田町で生を受け育ちます。新劇役者北野博美と駆け落ち結婚、彼の影響を受け、天性の芸事に磨きがかかるも、離婚、独立独歩、二児を育てながら執筆、文学活動を推し進めます。雑誌「山脈」の出版もその一つ、青燈社から「エクスリブリス」を発刊、この道、エクスリブリスの権威者となります。後年、知遇をえた甲府教会の牧師中山笑を研究した「山中共古ノート」を出版、多くの学者、文化人から絶賛され、名エッセイストとしての評価が高まりました。

平成7年、98歳の高齢でなくなり

ますが、先年県立文学館で、特別展が開催され、「書票作家」として業績が明らかにされました。広瀬千香、彼女の作った書票を、娘・照日さんより、奈麻余美文庫に寄贈を受けました。「紙の宝石」と呼ぶにふさわしい、それはそれは美しいものです。受け入れを記念し「エクスリブリスに魅せられた...」<広瀬千香と斎藤昌三>を刊行いたしました。

イベント

紙の宝石「エクスリブリス」展

期間：平成21年4月25日～29日

時間：午前11時～午後5時

会場：甲府市丸の内1-19-21

ギャラリー「コシカ」 入場無料

植松 光宏 (うえまつ みつひろ)
元 甲府市立図書館長
現 山梨大学非常勤講師
奈麻余美文庫主宰
昇仙峡御岳蕎麦保存会会長



輝く笑顔のお手伝い...



プレイポートワンダーサファリ

プレイポートワンダーアイランド

(株)コトブキより4月発売!!

ROAD 株式会社ロード
交通安全施設設計施工
公園環境施設設計施工

〒400-0853 山梨県甲府市下小河原町262番地
TEL: 055-241-6161(代) FAX: 055-241-6118



五丈石曙光



山頂近くの岩場の間に咲くハクサンシャクナゲ

山頂の岩場の間から富士山展望

きんぷさん 金峰山 (2595m)

甲府市・北杜市

写真・文: 上野 巖

金峰山は甲府市と北杜市にまたがっていて、甲斐の北の空を守る名峰であり、奥秩父の盟主である。隣の端牆山と共に深田久弥の日本百名山に選ばれ、むろん山梨百名山の一峰でもある。盆地を隔てた富士山の展望に優れていることは、言うまでもない。

古くは蔵王権現と呼ばれた金桜神社の奥宮が山頂に祀られていて、信者たちは金桜神社からの今は廃れている長い山道を延々と辿ったのだった。

現在、山梨県側から金峰山を目指す一般コースは2本ある。1本は、増富ラジウム温泉を過ぎた林道を端牆山荘まで入り、そこから里宮の急坂を登って富士見平で端牆山を目指すコースと別れ、深い森の中を登るものである。

途中の大日小屋を見送って、縦八丁の急坂をこなすと大日岩だ。そこからなお原生林の中をかなり歩き、やがて岩場が出てくると周囲の展望が開ける。富士

が合間から見える千代ノ吹上の大岸壁を右に見送ると、山頂に立つ五丈石も近い。五丈石のわずかに北東の岩石の重なり合う所が2,595メートルの山頂だ。富士山はもちろん、南アルプス、八ヶ岳、それに東に続く奥秩父の峰々などの大展望が開ける。

金峰山を目指すもう1本のコースは、全く反対の東面にある大弛峠からのものだ。峠は全面舗装された川上牧丘林道の最高点であり、すでに2,365メートルの高さがある、朝日岳をひとつ越えて2時間で頂上に達することが出来る(復路は1時間半)。早朝に盆地の自宅を出ると、午前中に金峰山の山頂を踏んで帰って来るとも可能なのである。



コースタイム	端牆山荘	富士見平	大日小屋	大日岩	金峰山
	50分	1時間	30分	1時間50分	(下山は3時間)



河岸付近

道本線の岩淵停車場が、てから三十六年の中央線甲府八王子

伝統を伝える 素朴な奈良田の歌と踊り

其の一

劇作家 水木亮

「一九四二年生まれ 早大卒 劇団主宰小説『祝祭』で第十六回織田作之助賞 小説『杏見合い』で第四回農民文学賞

平成十九年の秋、山梨県生涯学習センターが主催した山梨学講座で、「風土が生んだ文学と芸能」が行われた。そこで私は秘境と言われた早川町奈良田の歌と踊りを担当したのだが、「こゝは、言語の孤島」とも呼ばれ、山梨県でも独特の方言を残し、また江戸時代から伝承される歌と踊りが存在する。「白樺会」という民謡保存会が昭和三十七年に誕生し以来面々と歌と踊りを継承する。少子高齢化社会と呼ばれるが、奈良田も子供がいない。早川中学校には現在二十人程度の生徒数である。

平成十九年十月二十七日、生憎台風が来たが、白樺会の十一人が自家用車三台で会場の「男女共同参画センター」に到着した。会長で三味線担当の深沢作一さん、同じく三味線担当の深沢実さん、「追分」「盆唄」を歌う深沢やすさん。囃子の深沢和江さん。「手まり歌」を伝承する深沢八重子さんと深沢いさをさん、「子守歌」の深沢里子さん。踊り手の深沢澄男さん、深沢定富さん、深沢時雄さん、



深沢栄子さん、深沢花江さん、深沢里子さんらである。まず「盆唄」は「八幡」とも呼ばれ、これは岐阜の古い民謡 郡上八幡が奈良田に曲げ物師によつて伝承された歌だと言われる。だから歌詞も「ヤレ 郡上八幡 出てくるときはサーヨイヤサノヤ」

「写真」奈良田追分を歌う 深沢やすさん(左) 囃子の深沢和江さん

ふるさとの歌と芸能をたずねて

郷愁の俳人

秋山秋紅蓼 (歟沢)

歟沢のとば口、今では毒消しの護符よりも紫陽花の寺という方が通りがよいである。つ小室山へと上がってゆく丁字路の傍らに妙法神堂はある。一角にこの街に生まれた自由律の俳人秋山秋紅蓼の句碑が建つ。

山の桜が谷へちり

いまも古里である

咳くような、永久に循環するよつな句。

生家は今の山梨交通バスの歟沢営業所の辺り、呉服太物を商う老舗大黒屋の次男坊である。歟沢河岸にも近く、かつては富士川水運で賑わった一帯だ。江戸時代の話ではない。明治二十二年に東海

間の開通までのことだ。岩淵から上がるのは塩、石油、大豆、米、魚類、砂糖、靱玉など。下る舟には紙、果物、生糸、芋麻、煙草などが積み込まれた。二十五年の歟沢宿の年間宿泊人が三万四千人を上回ったという調査もある。ちよつと明治十八年生まれの秋紅蓼(本名鉄雄)の少年期から青年期に重なる。

古駅とて歟沢もう柳吹いて

枯れそめるあたり

大正八年に父を亡くした家では、もはや老舗の暖簾を持ちこたえることは難しかった。

みんなが決心した話で

柱時計まいている

一家は上京し、千代田区一番町に旅館松栄館を構える。が、関東大震災で灰燼に帰す。秋紅蓼が少年時代から創作し、発表

文芸評論家

福岡哲司

昭和二十三年生まれ 「評伝 深沢七郎ラソソ」で開高健賞受賞 「近代山梨の光と影」山田ライブラリー 平成二十年度甲府市民文化奨励賞



富士橋

した作品のすべては失われてしまった。再建した旅館は東京空襲でまたもや焼失する。

冒頭の句は、昭和二十九年、旧歟沢町制六十周年にあたって文化功労者として表彰を受けた際の詠だ。古里の人々への挨拶の句でもあるが、郷愁をモチーフとするこの多い秋紅蓼にふさわしい。碑陰には「た一人になつても随順した句詠、層雲の師荻原井泉水のことば。昭和四十一年没。」

句集

『夜の富士』(昭和六年)、『兵隊と桜』(昭和十五年)、『梅花無限』(昭和四十年) 評論『俳句表現論』(昭和三十三年)

BOOK

すばらしい本との出逢い



秋紅蓼句集

俳句抄

雪風となる山の町の呉服屋の看板 富士を月夜とし鉄橋のある風景 濡れ土の上に夕日染む掘れば掘るほど 逢ひにゆくことが夏の山々を越える旅 になる 征つて来ますと一言言葉あり 統制切符の一枚一枚は街路樹の葉ッパ葉ッパ 子供ばかりの葬列がゆく夕日の中 月がガソリン売りの娘に凍ててゐる こんなジグザグの生活の青い一本の葱をきざみ 日の暮犬がはしつていつたきり 蟻の列から離れてゆく一匹の意志 真昼の芝生に人も見えず白き蝶生まる 夢の中の女が青い帯しめて来た朝 あめふる灯が灯があめ

介護報酬改定について

基本的な考え方

1.改定率について

[介護報酬改定率 3・0%]

うち、在宅分1・7%
施設分1・3%

- 介護従事者の離職率が高く、人材確保が困難であるといった状況
- 本年の通常国会で「介護従事者等の人材確保のための介護従事者の処遇改善に関する法律」が成立
- 平成20年10月30日に、政府・与党において「介護従事者の処遇改善のための緊急特別対策」として、平成21年度介護報酬改定率を3・0%とすることが決定

2.基本的な視点



- 介護従事者の人材確保・処遇改善
- 医療との連携や認知症ケアの充実
 - ・医療と介護の機能分化・連携の推進
 - ・認知症高齢者等の増加を踏まえた認知症ケアの推進
- 効率的なサービスの提供や新たなサービスの検証
 - ・サービスの質を確保した上での効率的かつ適正なサービスの提供
 - ・平成18年度に新たに導入されたサービスの検証及び評価の見直し



在宅介護サービス
株式会社 やさしい手甲府

介護に関するご相談は

山梨県甲府市上石田1-7-14

TEL055(236)6210

<http://www.yasashiite-kofu.co.jp>

ハートフルなスタッフを募集中

安心して働ける仕組み

派遣社員なら、自分のライフスタイルに合わせた働き方が選べます。資格をお持ちの方は即戦力として、これから資格を目指す方は、働きながら。また就職に関するわずらわしさからも解放されます。通常仕事を探す場合、応募～面接～手続きまですべて自分で行わなければなりません。派遣社員なら希望の仕事を登録しておくだけで、派遣元がすべて調整いたします。万が一ミスマッチ(職場不適合)の場合でも、コーディネーターが派遣先との調整を行いますので安心です。

充実の福利厚生

派遣社員は正社員です。一定の条件を満たしているハートフルスタッフは、社会保険(健康保険・厚生年金)、労働保険(雇用保険・労災保険)に加入、安心して働ける職場環境です。電車・バス・ガンリン代など、通勤にかかる費用も全てハートフルスタッフが負担します。

●医療・介護・福祉の仕事に興味があるけど、とりあえずどんな仕事があるか電話やメールで聞いてみる、こんな気軽な動機でご相談ください。



ハートフルスタッフは医療・介護・福祉に特化した人材派遣業と職業紹介事業を行っている会社です。

HEARTFUL STAFF

派遣・紹介に関するお問合せは

TEL055-236-0123

Koufu:Hachioiji:Choufu:Yokohama:Shinjuku



信頼関係の構築

クレーム対応
24

原則24時間以内に
すべて対応

相談ホットライン

派遣スタッフの悩みを
常時受付

カウンセリング
パトロール

定期巡回による
カウンセリング

『山梨商工人名録』から 大正期の運輸をみる

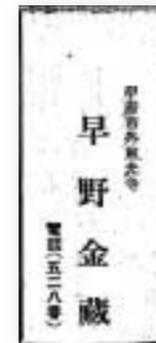
～馬車から自動車への転換～

林 陽一郎

はやし よういちろう
甲府市教育委員会文化振興指導員
山梨郷土研究会



人名録のタイトルページ



早野金蔵人名録の広告

治三十五年十月 橋町一六が載っている。この後は広告欄で運輸関係で興味のあるものをみると、「峡西乗合馬車発着所甲府市百石町長谷部兼吉新式ゴム馬車二十五台あり」が目を引き鉄の輪の入った車輪から「ゴムタイヤの車輪となったことがわかる。また甲府市には以前から馬車鉄道が運行されていたが、甲府市相生町四七 飯沼乗合自動車商会」による自動車の出現で客の獲得競争となる。「甲府市橋町十六番地内国通運甲府取引店 八日町集荷所八日町一丁目若尾銀行前は 現在の日本通運の前身で、鉄道省管轄の駅の小荷物の取扱を一手に行っていた。山梨通運も発足当初には中央線工事の功績もあり、「日本通運の業務委託を受けて小荷物の運送を行っている。このほか、甲府停車場前乗合馬車立場深山常吉」中央線甲府駅前甲府運送店、甲府市常盤町二番地帝運株式会社甲府支店」などの名がみえ、これらも駅近くに集まっている。

この頃、早野金蔵は土建業を甲府市緑町五番地で営むかたわら、甲府市外里垣村(現甲府市東光寺三丁目)に大正二年(一九一三)東光寺温泉を開発、芳能湯(後に三楽荘)として開業している。人名録には早野金蔵の氏名が載っている。

『山梨商工人名録』という本を入手した。大正十二年(一九二三)の発行で、県下の商工業者の名簿であるといっても市内全部の業者名は載っていない。金を出した人だけであるが大正終りの山梨の状況をしる資料として貴重である。

最近この種の本の値段は高くなった。

表紙を開けると「活字組立中未曾有ノ震災二遭ヒ為ニ誤植脱字及体裁ノ不備ノミナラス発行以外ニ後レタルモ幸ニ諒トセラレタシ」との付箋が貼られている。印刷中に関東大震災があったことがわかる。

本の内容は大正十二年十月一日現在の甲府、西山梨、東八代、西八代、東山梨、北巨摩、中巨摩、南都留、北都留の各部の商工業者の広告とそのあとに電話番号一覧がある。甲府はアイウエオ順で職業別の氏名が記載される。運送関係では営業納付税額、所在地、電話番号、氏名の順でつぎの人たちが載っている。甲運送合資会社、中山義郎 秋沢類太郎、仙洞田由吉、山梨運輸合名会社、樋口半六、共同運搬株式会社、山梨自動車運輸株式会社、萩原団次郎の九名の名があるがさらにこのあとに「各種組合一覧」があり、甲府運送業組合 明治三十六年六月設立 事

務所橋町」とある。この時に中央東線鉄道が八王寺から甲府迄開通したのでこれを期に運送関係の組合が結成されたのかもしれない。組合一覧のつぎには「法人一覧」として甲府市内の法人名、業種、設立年月日、所在地の順で記載されている。第十銀行(現在の山梨中央銀行)や市内大手の製糸会社、水島、呉服店が挙げられているが、そのうちから運送関係をひろってみると「山梨軽便鉄道株式会社 鉄道 明治三十九年十月設立 太田町八二」とある。これは明治三十年に甲府勝沼・甲府飯沼間で運行された甲府馬車鉄道

が譲渡され軽便鉄道と名称変更されたものであるが、中央線開通により勝沼甲府間の営業を廃止し甲府飯沼間の運行を行っていた。後に「峡西電鉄」山梨交通電車となり昭和三十七年(一九六二)まで運転され、通称ボロ電と呼ばれていた。

「共同運搬株式会社 運送 明治九年八月設立 新青沼四五」、新型フォード五台でもってタクシーを開業した山梨自動車運輸株式会社 乗客並荷運送 大正六年九月 泉町七、甲府中牛馬合資会社 貨物運搬 明治三十六年四月 相生町五八、甲運送合資会社 運送業 明

乗り心地と燃費のよさが魅力。万全のメンテナンスで、遠距離通勤も安心

杉山 秀仙さん(南アルプス市)



担当者今川さんと

南アルプス市にお住まいの杉山秀仙さんは、トヨタ車に乗り継いで10年以上。「何といっても営業さんがいいんですよ。こちらの立場になっているいろいろ考えてくれて、対応も早く、頼りになるディーラーです」と満足そうな笑顔で語る。

現在の愛車は、営業さんにすすめられて決めたというオーリス。「アクセルの感覚がよく、内装のデザインもスッキリしていて気に入りました。それとやっぱり乗り心地のよさが決め手でしたね。」

というのも、杉山さんは毎日、南アルプス市の自宅から南部町にある勤務先まで1時間10分かけて通勤している。

「オーリスに乗り始めて2年半ですが、既に走行距離は60,000kmを超えています。長い距離を乗るので運転のしやすさが何よりです。それと燃費も大切ですね。実は以前、ほかのディーラーさんをのぞいたことがあるんですよ。でもいいなと思う車はみんな燃費が悪くて。やっぱりネット甲斐さんの車がいいとあらためて感じましたね。」そう語る表情からもネット甲斐が、そしてオーリスが期待にしっかりと応えているのが伝わってくる。

遠距離通勤ではもうひとつ、気になるのがメンテナンスだ。オーリスの前に乗っていたイブサムは約6年で180,000kmを

1週間で3,000kmを走りましたね。その頃はお金もないから車に寝泊りしたり、テントを張って寝たりして、楽しかったですね。」

「役員の任期ももう終わるので時間ができますし、高速料金も安くなるので、また東北にでも行ってみたいですね」とほほ笑む杉山さん。今度は奥様と一緒に楽しむ2人旅。きっとオーリスが素敵な旅を演出してくれるだろう。



杉山さんご夫妻

走ったそうだが、「常に営業さんが気にかけてくれるので、安心して乗れました。今もそろそろオイル交換、エレメント交換という時期になるとちゃんと連絡をくれて、素早く対応してもらっています」と信頼を寄せている。

ここ1年は地元の地区の役員を任されていて何かと忙しく、出掛けることもあまりなかったというが、以前は奥様と2人で京都に出掛けるなど、車での旅も楽しんでいたそう。

「若い頃は1人で東北を車で1周したこともありましたが、十和田湖などを巡って



個性とセンスが光る、暮らしを楽しむ住まい

今井さん宅(南アルプス市)

果樹畑に囲まれた静かな場所に建つ、真っ白でシンプルな外観の今井邸。「モダンな雰囲気、個性的な感じの家にしたかったです」というご夫妻が選んだのは「シンセ・カーダ」。外観はもちろん、随所にお2人のこだわりとセンスが感じられる、素敵な住まいだ。

「楽しくて飽きない遊びのある家にしたいと、各部屋に、何かしらワンポイント入れるようこだわりました。」というご主人の言葉どおり、どのスペースも本当に個性的。白を基調としたリビング・ダイニングの中心には友人を招いて立食パーティーができる真っ赤なアイランドキッチン、その先に続く和室には壁一面に遊び心で竹林(フォトプリント)のクロスを採用し、奥行きのある空間をつくり出している。

こだわりのスペースの中でも1番のお気に入りというトイレは、ドアを開けてビックリ。東側の壁一面すべてが腰高の透明ガラスになっていて開放感抜群だ。窓の向こうには坪庭があり、浴室からも同じ景色が味わえて快適でリラックスできる癒しの空間に仕上がった。

デザイン性だけでなく、もちろん住み心地にもこだわった。「トヨタホームは耐震性に優れた構造なので安心ですし、断熱性、自由設計、健康住宅なども家づくりをする上で魅かれた点ですね。設計も敷地形状を活かして南面に多くとった窓から暖かい日差しが降り注ぐリビング、そのリビングと一体になったテラスは第2のリビングとなり大空間を実現しました。また、玄関の裏にコートをかけるスペースを設けたり、細かいところまで考えてプランニングしてもらいました。」

その甲斐あって「思い通りの納得できる家ことができました。」とお2人。「設計の方をはじめ、現場の方にも何でも話せて、



アレンジで引き立つ和室



コントラストが印象的なキッチン



光の差し込むお気に入りの空間



今井さんご夫婦と担当の白須さん

意見を言えば必ずいいアドバイスをいただけたので本当によかったです。それもプラス面だけでなく、マイナス面も言ってもらえて、十分な話し合いができたので、1つ1つ納得して進めていくことができました。だから新築でも違和感なくすぐに馴染めました」と新居での暮らしはもちろん、家づくりそのものも楽しんだようだ。

休日には、ご主人はガレージで車をいじったり、奥様は和室で着付けを楽しんだり、趣味を満喫しているご夫妻。器用なご主人は庭づくりにも取り組んでいて、最近趣味になりつつあるそう。「これから縁側をつくったり家の周りに緑を増やそうと考えています。そうやって自分たちの手で自分たちの家をつくりあげていきたいですね。」

こだわりの住まいでの楽しい暮らし。楽しみはこれからさらに増えていきそうだ。

INFORMATION

自動車事故「ゼロ」を目指し、
安全の確保に務める

自動車を使って運送事業を営む事業者にとって、重大な自動車事故は経営面でも企業の社会的責任の面でも、最大の悪影響をもたらす。当社における事故防止活動は、健全な運送事業の経営を継続するために欠くことのできないものとなっている。

自動車事故の発生メカニズムを分析すると「ひと」「みち」「くるま」の三要素に分かれる。いずれの要素にもヒューマンエラーが背景に潜んでいることが多い。事故やトラブルが発生すると、エラーを犯した運転者の不注意だけが非難される傾向にあるが、不注意は交通事故の原因ではなく結果であり、不注意を招いた真の原因こそ究明されるべきである。つまり、人間はエラーを犯すものであり、真の再発防止のためにはエラーを犯した運転者がなぜそのような不注意を招いたのか、という背後関係を明らかにすることが大切である。

基礎調査
事故現場の確認 点呼の実施状況 過労防止に関わる状況
運行記録計 運転者教育 過積載防止 適性診断 社内規程の遵守 健康診断 乗務等の記録 職場・家庭問題等

面接調査
事故日前、当日の心理状態・健康状態 事故直前の運転時の状態(運行記録計・運転操作・心身の状態)
したがって事故発生を未然に防止するための対策を講じていくには、運転者の人的要因とともに、事故が発生する環境について様々な角度から情報を収集、分析する必要がある。また背後に潜在する危険要因を排除することが重要となる。

甲府通運(株)
本社：中央市山之神流通団地3329 9 TEL055 273 0611

Qu'est ce que "Chambre à Paris collection" ?

「パリの小部屋のおくりもの」

「お気に入りだけに、かこまれてすごしたい」
そんな素敵な頃からの夢をかなえに、
Chambre a Paris(パリの小部屋)がやってきました。

Vitz 特別仕様車 F
Chambre à Paris
collection



ネットトヨタ甲斐(株)
本社：甲府市朝氣3丁目10 21 TEL055 232 5511

■ あったらしいな「愛犬リードフックポール」

安心してつないでおけるところがあったら、愛犬とお散歩しながらお店に立ち寄ることもできます。

信建工業の「愛犬リードフックポール」は、はずれにくいように返しがついたフックと、長さ調整のフックもついており、全面抗菌塗装で安心。据置式と固定式があります。ポールはオリジナルデザインが可能、広告塔にもなります！



■ 太陽光発電余剰電力の買取価格が2倍に？

住宅用太陽光発電の余剰電力は電力会社を買ってもらうことができます。経産省は、その買取価格を50円弱に、現行の約2倍にする方針を発表しました。来年から10年程度の期間限定となるようです。20～25年で元が取れると言われる太陽光発電ですが、これによって15年程度で回収できる場合が出てきそうです。

(株)ロード 本社：甲府市下小河原町262番地
TEL055-241-6161(代) FAX055-241-6118 e-mail uproad@pluto.plala.or.jp



トヨタホーム山梨 ホームページが
リニューアルしました！

トヨタホームの商品・展示場・不動産情報・資金計画など、
家づくりの情報が満載！！
詳しくはホームページで！

www.yna-toyotahome.com [トヨタホーム山梨](#) [検索](#)

トヨタホーム山梨(株) 本社：中巨摩郡昭和町河西1043
TEL055-275-1234 FAX055 275 7806 http://yna-toyotahome.com/

INFORMATION

「環境にやさしい事業」

早野組は「安心」「品質」「コスト」と同時に、「環境」を経営の柱のひとつとして取り組んでいます。早野組がサポートする「環境にやさしい事業」は下記の通りです。

- 土壌・地下水汚染の調査・浄化工事
- 埋設廃棄物の調査・浄化工事
- 省エネ照明器具の設計・施工
- 窓ガラスへの省エネフィルム、省エネコーティングの設計・施工
- 屋上・屋根・外壁の省エネ塗装の設計・施工
- 太陽光発電の設計・施工
- 屋上緑化・壁面緑化の設計・施工
- 小水力発電の設計・施工
- 光触媒(防汚、有害物質の浄化)の塗布
- 焼却炉の解体工事



太陽光発電

(株)早野組 本社：甲府市東光寺1-4-10 TEL055 235 1111 http://www.hayano.co.jp

ヘルパーさん大募集!

<p>時給</p> <p>1,000～1,600円 サービス・時間帯に 応じて決まります。</p>	<p>資格</p> <p>ヘルパー2級以上 あとは、あなたの 笑顔があればOK!</p>	<p>安心</p> <p>初めての方でも だいじょうぶ!! 先輩ヘルパーが同行指導。</p>
--	---	---

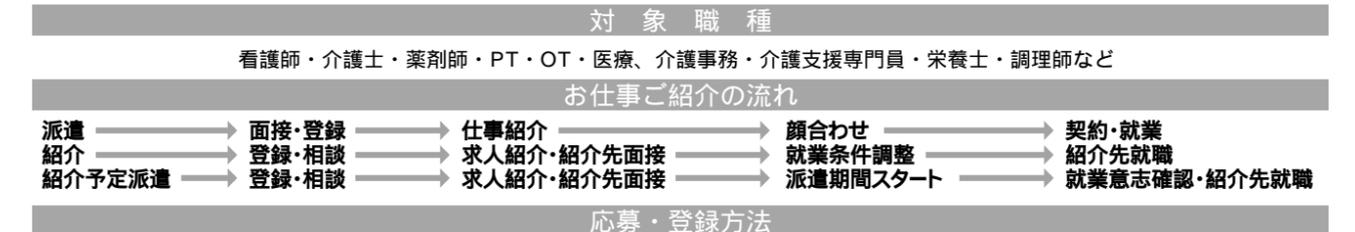


○初めに働ける曜日や時間をお知らせ下さい。あなたのペースで仕事をいたします。
○資格は無いけど働きたい!!そんな意欲のある方は、まずは当社提携先のヘルパーズスクールで資格取得!!奨学金制度もあります。

(株)やさしい手甲府 本部：甲府市上石田1-7-14 TEL.055 236 6210 http://www.yasashiite-kofu.co.jp

HEARTFUL STAFF 医療・福祉関係への転職支援・派遣 HEARTFUL STAFF

「転職を目的とする紹介・紹介予定派遣」「資格取得やスキルアップを目的として派遣」など、
ご自身の希望にあわせてお仕事のご紹介をさせていただきます



応募・登録は随時受付しております。まずは下記までお気軽にお電話ください。ご来社の際は履歴書(写貼)ご持参ください。
紹介・紹介予定派遣をご希望の方は職務経歴書もご持参ください。ご相談のみもお気軽にどうぞ。
首都圏(八王子・調布・新宿・横浜青葉)にも支店がございます。ご希望の方はお気軽にお問合せください。

(株)ハートフルスタッフ甲府支店 山梨県甲府市上石田1-8-20 TEL.0120-063-224 http://www.hf-staff.jp/

TIGAR'S TAIL

お洒落ゴコロをくすぐる
こだわりのブランドが勢ぞろい



スタッフの古屋さん

丸の内、舞鶴通りのスクランブル交差点からほど近くにある人気のセレクトショップ。店名も粋だが、店内のインテリアにもセンスが香る。白とダークブラウンを基調に、レンガやフローリングで空間がエリア分けされ、海外で買い付けたシャンデリアが雰囲気を引き立てている。

取扱ブランドは、n°44、blanc basque、Ylts、supp、carlife、satine、calme、me you、bliss、oto、Annak、TRES、melissa、

tsumori chisato CARRY、tiger's tail original など。県内でもここだけでしか入手できないものがほとんど。普段着のアウトカーから呼ばれ用ドレス、バックやシューズ、アクセサリまですべて揃ってしまう。アイボリーや白、カーキのナチュラル系カラーに、シフォンや生成り、麻といった素材、レースや花柄を取り入れた春夏ものがセンス良くディスプレイされていて、どれもデザイン性の優れたアイテムばかり。

またメンズアイテムも充実。姉妹店TIGAR'S TAIL MENの店長は「袖を通していただくだけ、身につけていただくだけで、グッとお洒落になる。そんな品揃えを心がけています」とのこと。「お客様のコーディネートをご提案するのが大好き」という古屋さんなど、スタッフもとても気さくなので、ぜひ気軽に立ち寄ってみてほしい。ウェブの通販サイトも必見。



	<p>TIGAR'S TAIL (レディース) 所在地 甲府市丸の内1-9-9上田ビル1F TEL 055-223-0015 営業時間 11:00 ~ 20:00 定休日 不定休</p> <p>TIGAR'S TAIL (メンズ) 所在地 甲府市丸の内1-14-14オリオン共同ビル105 TEL 055-226-2138 営業時間 12:00 ~ 19:00 定休日 水曜日 URL http://www.rakuten.ne.jp/gold/tigerstail/shop/</p>
--	--

親切で丁寧、ローコストな印刷通販 プリントネット 株式会社

デジタル化に伴い、私達の暮らしも目まぐるしく変わった。ネットで検索し、ネットで買えることができる便利さはじつに有難いものだ。今回はネットを武器に、光ファイバーを最大限活かした印刷物の完全データ入稿によって、ローコストでスピーディな高速納品を実現、全国に取引先を広げ、上野原の新工場開設でさらにサービスを拡充。劇的に売り上げをアップさせている印刷通販専門業者をご紹介します。

ハンデモチャンスに変えて

顧客満足度をとことん追求

プリントネット(株)の前身は、昭和43年に鹿児島で創業した小田原印刷だ。その社名からじつは神奈川を始めとする関東のお客様が、小田原市と関係があるのかと勘違いしてご用命されることが多かったという。そんなこともあって、4年ぐらい前に本格的にネット通販を始め、昨年秋には上野原市に東日本をまかなう支店として東京西工場を稼働させた。

「もともと鹿児島でやれると思わなかった」と話す小田原洋一社長は2代目。本社は九州の最南端に位置する。ところが先ほどのうれしい勘違いに加え、デジタル全盛時代の波に乗り、ネット専門で仕事を受注する手法が飛躍の引き金となった。

新規からお得意様へ

信頼がもたらす高いリピーター率

「九州は夏場になると台風がよく来る。交通網がストップしてしまうこともしばしば。それを考慮し以前はあらかじめ1、2日早めに発送していました」と社長。小さな営業努力の積み重ねで、今がある。上野原は新宿へ1時間で行ける距離。昨年9月に東京西工場を開設してから印刷の立ち合いに来社されるお客様も増えている。取引先は企業や大学・大学生などで関東が7割。ネットにサイトを作り、営業している同業他社もあるが、プリントネット(株)は自社で責任を持って管理印刷し、品質と納期を徹底させている。

「価格が同じくらいならお客様にどこで判断してもらおうかですね。信頼していただいて、次回また頼もう、とリピーターになっていただければそれが何よりです。」新規顧客は全てネットで入ってくるため、とにかくリピーター率の底上げが最重要課題だそう。現状、毎月の売上げを100とすれば20%が新規で残りがリピーター。この数字からもいかに顧客からの信頼度が高いかが推し量れる。

顧客サービスを追求し続けて

見えてくる商売の本道

今後は北海道と沖縄も同等のスピード納品を提供できるようにしたいと意欲的な姿勢をみせる小田原社長。不景気を跳ね



除け、屈強に我が道を進む、勝ち抜く秘策はと問えば、「常に改善、常に前進」をモットーに次なる山の頂上を目指して邁進していくのが当社の理念、との答えが戻ってきた。

決して居丈高でなくむしろ安堵感を感じるほどの穏やかで懐の大きい、九州男児らしい社長の人間性。その胸に秘めた熱い闘志と、非効率なコスト・営業コストを省いて機械や広告費にかけるといふ、プロフェッショナルとして究極を追い求めた手法に、売れる商売の真髄を垣間見た気がした。



小田原洋一社長

プリントネット株式会社

昭和43年創業。
デジタル時代の光ファイバーを活かしたローコストかつ迅速な印刷通販会社として全国の顧客から支持を集めている。
社員は45名。昨年9月に東京西工場を新たに稼働させた。

東京支店・東京西工場
〒409-0133 上野原市八ツ沢2286-13 TEL 0554-30-2511

本社・鹿児島工場
〒899-5431 鹿児島県姶良郡姶良町西餅田1191-3 TEL 0995-66-2197
URL <http://odahara.jp>



納豆工房 せんだい屋

バラエティ豊かな味、大豆の旨みが、
本物志向をうならす

免疫を高める作用や老化防止などで注目される、納豆。その納豆作りを手掛けて48年間という老舗ブランドが「せんだい屋」だ。紺色のれんががついた納豆の自販機といえばピンとくる方も多だろう。自販機は県内に現在12カ所設置されていて、20種類の中から24時間いつでも好きなものを購入できる。

大豆にはもちろんこだわっているが、職人が真心込めて作る納豆は、一粒一粒ふくらして味が確かに違う。石和町唐柏にある本店では試食もでき、ご飯にかけて食べる通常の納豆をはじめ大豆本来の旨味を堪能して頂く商品、お茶うけになるドライ納豆など、商品展開もバラエティ豊か。今回はどれにしようか選ぶのも楽しい。「県外からわざわざ買い求めに来て下さる本物志向のお客様も多いんです」と伊藤専務。

食に対する安全が求められる中、国産100%の大豆を使った当社商品が全国納豆鑑評会においてたびたび受賞され、業界内で高い評価を得ているというのも、逸品である証だ。

一方、県内各JA管内で栽培された大豆で納豆

を作り、学校給食に提供したり、福祉施設やVF選手らに納豆を贈呈するなど地産地消・地域貢献にも積極的に力を入れている。大豆本来の美味しさを再発見できるこだわり商品の数々、食わず嫌いの方も、ぜひお試しあれ。



伊藤専務



24時間いつでも納豆



種類豊富なせんだい屋の納豆(写真は一例)



所在地 山梨県笛吹市石和町唐柏585-2
TEL 055-262-1170
FAX 055-262-1171
フルタイム 0120-52-1710
営業時間 9:30 ~ 18:30
(冬期は17:30)
定休日 火曜(祝祭日は営業)
URL <http://www.sendainatto.jp>

鎌倉街道(御坂路)

駿河と甲斐を結ぶ歴史の道

鎌倉街道は、御坂路・鎌倉街道・駿州東往還・鎌倉往還・沼津街道・小田原道などとも呼ばれている。鎌倉街道の道筋は『甲斐国史』では、石和宿 黒駒村 駒木戸番所 藤木村 御坂越 都留郡川口宿 上吉田村 山中村番所 駿州駿東郡須走村 竹ノ下・足柄嶺としている。大体、今の国道137・138号線である。

鎌倉街道の名は、甲斐ばかりでなく関東諸国・信濃・駿河・伊豆等に、凡て鎌倉を目指す街道に残されている。室町時代に入っても鎌倉は関東管領の治所であり、甲斐はいわゆる坂東の政圏に入っていたので、この街道の重要性は変わらなかった。

駿河と甲斐を結ぶ道路のうち、最も利用されたのが鎌倉

街道であった。それは先ず地理的に東海道の最も近く、かつ道筋に人家が割合多く危険度が低かったことによる。それに甲州の中心地は盆地の東寄りにあったので、駿河・坂東への最大の街道であった。



黒駒街道(黒駒横町)石和町内

また鎌倉街道の歴史上果たした役割は大きい。古代には中央・地方を結ぶ官吏や防人・役丁あるいは庸調などの年貢を背負って一月近くかけて京師に向かった運脚、官牧の駒などが、困難と戦いながら往来し、中世には守護・地頭などの御家人や国人などの武将・僧侶・神官・歌人の姿や荘園の年貢運搬者(兵士)などが見られ、戦国時代には北条氏と武田氏はこの街道を中心に戦い、それぞれの分国内には伝馬の制を設けた。江戸時代には戦乱も収まり脇往還として庶民の最もよく利用する街道となった。ことに富士道者・伊勢詣でなどの信仰によるもの、馬背による商品流通などが後期から顕著になった。 [文・写真 若林 賢明]



御坂山頂を越える鎌倉街道(御坂路)

某月某日 自動車とライフスタイル

×月×日

最近テレビなどで都会の若者の自動車離れが報道されている。私は仕事と家庭の都合上、山梨と東京2か所に住んでいるようなものだが、確かに東京に住んでいれば、自動車は基本的には不要かもしれない。駐車場代だけで、最低4万円程度とられる。若者であれば、東京で自動車を保有するというような贅沢は、財政上不可能なのかもしれない。しかし山梨では、圧倒的に車に依存している。なければ仕事ができない。顔見知りの若者もたいがい保有している。山梨県の世帯あたりの保有数は、約4台であるという。金融恐慌で、アメリカ自動車産業の破綻救済案が3月末に発表されるが、自動車と生活について記述してみたい。よくライフスタイルというが、自動車はそのライフスタイルに密接に結びついていると思うからである。

自分の生活体験から東京と山梨について書いたが、田舎と言ってもその場所によって必要性和文化はかなり違う。例えば小さい車が便利な地域とか、大形のヘビー・デューティーな車が便利な地域とか、実生活の必要性に合わせて自動車を選んでいる。だからエコプームと相乗して、大都会に住む若者たちが自動車を保有しない、もしくは免許さえ持たないのは当然であろう。しかし一種の危機感を感じることも事実である。「自動車は私のライフスタイルに合わない」と考える若者たちに聞きたい。「そのライフスタイルって

本当に自分で選んでいるの?」と。確かに大学も企業も大都市に集中している。程度の差こそあれ、努力して、自分で選択して今の生活を送っているのかもしれない。自由主義とは、そういうことである。「免許を取るくらいなら、介護に関する資格を取って...」...確かに立派である。「移動しなくても、インターネットのオンラインショッピングで何とかなるし...」...確かに便利である。しかしその立派で便利なライフスタイルが本当に豊かなものなのか、きちんと考えたほうがいい。汚染された大気の中で、小さな部屋に閉じこもり毎日忙しく働いても、それほど金銭的余裕があるわけではない。本当にこれが自由で望んだものなのか、考えてみる必要がある。

ビッグ3が経営危機に瀕していてもやはりアメリカ人は車が好きである。その理由は単純で、自分ひとりの力で自由に移動できるという「権利」は、基本的人権と直結していると本能的に感じているからである。彼らの建国・開拓の歴史と結びついている。若者に聞くと、「免許も持てないような生活なんて、まるで奴隷のような生活ではないか?」という答えが返ってくる。

バブル崩壊から10年、日本経済はデフレに静かに耐えた。その後2000年頃から日米のデフレ・インフレ・ギャップによって発生した相対的円安状況によって、自動車など輸出産業の活性化が始まり、景気は回復してきた。社会状況はこの18年間に激変した。その間地方は切り捨てられ、自由競争の美名の下で、強者に都合のいい社会制度が構築されつつある。そしてこの金融危機を迎えているのである。だから言いたい。「運転くらいしてみたらどうですか?」と、「いま必要なのは意識の改革、自由主義という小部屋からの解放ではないですか?」と。地方が活性化することを望むからである。

[杉村 聡]

あなたの土地は大丈夫?

土壌汚染 調査から浄化まで お任せください



土地の健康診断
受けてみませんか?

土壌汚染とは...

人の活動にともなって排出される有害物質が土壌に蓄積された状態をいいます。

汚染物質の種類

- 第一種特定有害物質 (揮発性有機化合物)
- 第二種特定有害物質 (重金属等)
- 第三種特定有害物質 (農薬等)
- 油類やダイオキシン類

土壌汚染調査・対策のメリット

土壌汚染調査をすることにより、環境リスク及び土地資産価値の正確な評価が可能となります。また、対策することによって以下のメリットが発生します。

- 企業の信頼性の向上
- 土地の資産価値の回復
- 不動産取引の円滑化

土壌汚染 土地診断

あなたもこのチャートを使って診断してみましょう。汚染の可能性があるかもしれません。

